

平成29年度

# 臨床研修プログラム

岩手県立久慈病院

岩手県立久慈病院

# 臨床研修の理念

つねに医学の研鑽  
に勤め医師としての  
人格を涵養し社会に  
適正な医療の提供を  
行う

(平成21年4月1日策定)

岩手県立久慈病院

# 臨床研修基本方針

- 1 全人的医療を重視し、医学の進歩に対応して自らの診療能力を開発できる基礎を養います。
- 2 医師と患者との関係についての理解、医の倫理を体得し医師としての資質の向上に努めます。
- 3 安全、安心な質の高い医療の確保、実践に努めます。

(平成21年4月1日策定)

# 1. はじめに

医師の臨床研修に向けて、当院では社会のニーズに答えるべく、プライマリーケア、全人的医療を重視した研修プログラムを提供する。当院は、厚生労働省の指定する臨床研修指定病院として、医師法第16条の2第1項に規定する医師としての人格を涵養することのできる臨床研修を行う一方、岩手県北唯一の救命救急センターを併設する中核病院として、地域の患者さんの健康を守るために、常に研鑽に努め、医学的にも経済的にも社会的にも適正な医療を提供する。

## 2. 研修の目的

臨床研修の目的は、第1に研修医が適切な指導医のもとで、プライマリ・ケアに対処し得る研修医として必要な知識・技能を修得するとともに、医学の進歩に対応して自らの診療能力を開発できる基礎を養うことにある。第2は、医療における人間関係とくに医師と患者との関係についての理解を深め、併せて医の倫理を体得して医師としての資質の向上を図ることにある。

## 3. プログラムの特徴

- ・救命救急センターを併設しているため、3次救急患者が多く救急医療の研修ができるなどチーム医療の実践に適している。
- ・病院機能評価機構認定病院であるため、医療安全対策、感染対策が充実し、ローテーションの中で研修できる。
- ・豊富な研修実績をもつ指導医が充実しており、また各種シュミレーターがそろっている。
- ・研修医全員がBLS、ACLSのプロバイダーの資格を取得でき、希望によりJATCCを取得できる。
- ・当直研修は3人体制なので、いかなる患者に対しても指導医から教育を受けながらスムーズに研修できる。
- ・選択13ヶ月と長いので、研修医の希望に沿ったプログラムを組むことができる。

## 4. 研修の方及び指導体制

- 1、期間は2年間で、平成29年4月（医師国家試験合格後）から平成31年3月末まででローテイト方式。ローテイトは必須科目（内科、救急部門、地域医療、麻酔科、精神科および選択科目とする）。
- 2、一年次は内科系6ヶ月、救急1ヶ月、麻酔科1ヶ月、精神科1ヶ月を実施する。二年次は地域医療1ヶ月（後記「5」の前段の3診療所及び2病院のいずれか）、赤十字血液センター（年間数日程度）、選択研修12ヶ月の研修を行う。
- 3、最初の1ヶ月のオリエンテーション後は、将来の診療科あるいは里親（研修期間中に相談相手となる決められた上級医）に属す。内科研修6ヶ月では、消化器科・神経内科・循環器科、総合診療科の4診療科から3診療科を選択し、2ヶ月ずつ行う。救急3ヶ月のうち1ヶ月は救急科で、BLS（BasicLife Support）を中心とした救急医療の基本を研修し日中の救急センター当番を行う。2ヶ月は初期研修2年間の当直業務、約40回以上をもって2ヶ月に相当するものとする。
- 4、特別選択は外科1ヶ月、周産期1ヶ月（産婦人科0.5ヶ月、小児科0.5ヶ月）とし、3つの診療科から1つ以上を必ず選択し、外来診療または入院診療を中心とした研修を行う。（特別選択：到達目標達成ため当院が選択必修として選定した科目。）
- 5、2年次の地域医療研修1ヶ月では、診療所（洋野町国民健康保険大野診療所又は久慈市国民健康保険山形診療所又は国民健康保険田野畑村診療所）又は病院（岩手県立軽米病院又は国民健康保険種市病院）で1ヶ月研修する。

ひとつおりのプログラムを終了した時点で、当院に併設する救命救急センターでACLS (Advanced Cardiac Life Support) やATLS (Advanced Trauma Life Support)、JA T E C (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care) といった高度の救急医療を学習する。

選択科目研修12ヶ月は、自分の希望する診療科に当ててるが、指導医評価が合格レベルに達していない科目があれば再履修に当てなければならない。2年次選択期間中に、岩手県赤十字血液センターで年間数日程度の研修を行う（保健所は自由選択とする）。なお、到達目標に未達成がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

協力型研修病院における選択研修は4ヶ月までとする。又、連続して2ヶ月を超えないこととする。協力型研修病院での研修前に研修レポートの承認を得ること。

## 6、研修スケジュール

\*ローテーションは、順不同。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科						救急	麻酔	精神	選択	
2年次	選択					地域医療	選択					

\*協力型臨床研修病院（岩手医科大学附属病院・県立中央病院・盛岡赤十字病院・県立胆沢病院・県立磐井病院・県立大船渡病院・県立釜石病院・県立宮古病院・県立二戸病院・県立一戸病院・県立千厩病院・北上済生会病院・県立中部病院・北リアス病院）

\*協力施設（大野診療所、田野畑診療所、山形診療所、種市病院、軽米病院、久慈保健所、岩手県赤十字血液センター）

7、採用後2週間にわたり研修医オリエンテーション（県合同オリエンテーションを含む。）を行い、指導医や各部門の長が医師として身につけなければならない基本態度、社会・医学的知識について講義をする。同時に2・3年次研修医とともにOJTで研修を行う。

8、原則として1診療科1研修医としMan to Man で密度の濃い指導を行う。

9、当直研修では、内科系、外科系の2名体制で行われますが、1年次は7月から第3当直医として当直見学、研修後、12月から第3当直医（1年次研修医）は、1次、2次救急患者は初診医として診察する。3次救急患者は第1・2当直医とともに診察する。

2年次は（1年次2月～）は、第2当直医（指導医）の待機のもと第1当直医となり全科にわたるプライマリ・ケアと救急医療の実践的習熟に努める。

## 5. 研修内容の評価方法

研修医は、各ローテイト科の終了時に\*E P O Cにより各目標の自己評価を記録し、担当指導医は、研修期間中、随時研修医の自己評価結果を点検し、研修医の到達目標の達成を援助しE P O Cにより研修医を評価する。担当指導医は、そのローテイト期間のなかで研修医が合格レベルに達するよう努める。2年次6ヶ月のプログラム終了時に研修管理委員長が自己評価、指導医評価を検閲する。この時点で合格レベルに達していない項目があれば再履修通知書を発行して、選択科目の中で再履修させる。2年間の全プログラムを修了した時点で、研修管理委員長がすべて項目の指導医評価が合格レベルに達していることをE P O Cにより検閲し、病院長が研修修了認定証を発行する。

\*E P O C : Evaluation system of Postgraduate Clinical Training

## ○ 研修施設の概要等

項 目	内 容
研修施設	<p>1 開設者 岩手県</p> <p>2 病院施設名 岩手県立久慈病院</p> <p>3 所在地及び代表者 〒028-8040 岩手県久慈市旭町10-1 院長 吉田 徹 T E L 0194-53-6131 F A X 0194-52-2601</p> <p>4 許可病床数 340床 一般 275床 回復期リハビリテーション病床 43床 感染症病床 4床 救命救急センター 20床 (ICU・・・・・・6床)</p> <p>5 診療科 (21科) 内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、総合診療科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科</p> <p>6 建物 鉄筋コンクリート造5階建 1～2階 外来診療科、薬剤科、放射線科、臨床検査科、栄養管理室、管理棟(事務室等)、救命救急センター病棟 3～5階 病棟(7看護単位(救命救急センター病棟含む))</p> <p>7 研修方式 ・基幹型臨床研修病院 岩手県立久慈病院 (施設番号 030785) 内科、外科、救命救急部門、麻酔、救急、精神科、選択科目 ・協力型臨床研修病院 岩手医科大学附属病院 (施設番号 030041) 研修実施責任者 谷田 達男 岩手県立中央病院 (施設番号 030042) 研修実施責任者 高橋 弘明 盛岡赤十字病院 (施設番号 030043) 研修実施責任者 松田 壯正 岩手県立胆沢病院 (施設番号 030044) 研修実施責任者 八木 卓也 岩手県立磐井病院 (施設番号 030780) 研修実施責任者 横沢 聡 岩手県立大船渡病院 (施設番号 030782) 研修実施責任者 小笠原 敏浩 岩手県立釜石病院 (施設番号 030783) 研修実施責任者 吉田 健 岩手県立宮古病院 (施設番号 030784) 研修実施責任者 村上 晶彦 岩手県立二戸病院 (施設番号 030786) 研修実施責任者 松本 隆 岩手県立一戸病院 (施設番号 031191) 研修実施責任者 小井田 潤一 北上済生会病院 (施設番号 031193) 研修実施責任者 佐藤 智彦 社団医療法人祐和会 北リアス病院 (施設番号 033860) 研修実施責任者 長岡 重之 岩手県立中部病院 (施設番号 080001) 研修実施責任者 田村 乾一</p>

項 目	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修協力施設 地域保健・医療</li> <li>国民健康保険田野畑村診療所 (施設番号 033856) 研修実施責任者 川崎 研一</li> <li>洋野町国民健康保険大野診療所 (施設番号 033857) 研修実施責任者 中村 晴彦</li> <li>洋野町国民健康保険種市病院 (施設番号 033858) 研修実施責任者 磯崎 一太</li> <li>久慈保健所 (施設番号 033859) 研修実施責任者 鈴木 宏俊</li> <li>久慈市国民健康保険山形診療所 (施設番号 033865) 研修実施責任者 吉田 弘之</li> <li>岩手県赤十字血液センター (施設番号 034040) 研修実施責任者 中居 賢司</li> </ul>
プログラム責任者	岩手県立久慈病院 副院長兼感染管理室長兼中央手術科長兼医療研修科長 遠 野 千 尋
研修開始時期及び期間	平成29年度プログラム 平成29年4月1日～平成31年3月31日
研修医の処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身分は臨時医務嘱託（常勤）</li> <li>・勤務時間は8時30分から17時15分で1日7時間45分、週38時間45分とする。</li> <li>・給与は、報酬として 1年次 月額 360,000円 2年次 月額 410,000円とする。 手当は超過勤務手当、宿日直手当等</li> <li>・当直は月4回程度</li> <li>・時間外勤務あり</li> <li>・宿舎（1LDK、バス、水洗トイレ、駐車場有） 研修室にデスク、本棚、ロッカー貸与</li> <li>・有給休暇は年次休暇として1年次10日、2年次11日を与える。 また、特別休暇として夏季休暇4日間を与える。 病気休暇は10日の範囲で与える。</li> <li>・全国健康保険協会健康保険、厚生年金、雇用保険に加入する。 労働者災害補償保険や医師賠償責任保険は、病院が加入しその適用を受ける。</li> <li>・健康診断は、年2回行う。</li> <li>・アルバイトは禁止する。</li> <li>・学会等の参加は認めるが、旅費の支給は、1年間140,000円の範囲内とする。</li> </ul>
研修医の募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集人員は8名（原則としてマッチング登録者）</li> <li>・申し込み締切等 平成28年7月下旬</li> <li>・面接 平成28年8月中旬 （岩手県主催の合同面接会） 問い合わせ先 岩手県保健福祉部医師支援推進室 合同面接担当 T E L 019-629-6352</li> <li>・応募必要書類 （履歴書・合同面接会参加申込書・卒業（見込）証明書・成績証明書）</li> <li>・発表 平成28年10月下旬（マッチング協議会からオンラインによる結果通知） *決定者が募集定員に満たないときは、別途面接により決定することがある。</li> </ul>

# 岩手県立久慈病院

## 臨床研修プログラム =目次=

ページ

1. 臨床研修オリエンテーション	1
2. 臨床研修の到達目標	(3～13)
【一般目標】 G I O	3
I 行動目標 SBOs	3
医療人として必要な基本姿勢・態度	3
(1) 患者－医師関係	3
(2) チーム医療	3
(3) 問題対応能力	3
(4) 安全管理	4
(5) 症例呈示	4
(6) 医療の社会性	4
II 経験目標	4
A 経験すべき診察法・検査・手技	4
(1) 医療面接	4
(2) 基本的な身体診察法	4
(3) 基本的な臨床検査	5
(4) 基本的手技	5
(5) 基本的治療法	6
(6) 医療記録	6
(7) 診療計画	6
B 経験すべき症状・病態・疾患	7
1 頻度の高い症状	7
2 緊急を要する症状・病態	8
3 経験が求められる疾患・病態	8
(1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患	9
(2) 神経系疾患	9
(3) 皮膚系疾患	9
(4) 運動器（筋骨格）系疾患	9
(5) 循環器系疾患	9
(6) 呼吸器系疾患	9
(7) 消化器系疾患	10
(8) 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患	10
(9) 妊娠分娩と生殖器系疾患	10
(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患	10
(11) 眼・視覚系疾患	10
(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患	10



(13) 精神・神経系疾患	11
(14) 感染症	11
(15) 免疫・アレルギー疾患	11
(16) 物理・化学的因子による疾患	11
(17) 小児疾患	11
(18) 加齢と老化	12
C 特定の医療現場の経験	12
(1) 救急医療	12
(2) 予防医療	12
(3) 地域医療	12
(4) 周産・小児・成育医療	13
(5) 精神保健・医療	13
(6) 緩和ケア、終末期医療	13
(7) 地域保健	13

### 3. 各科の研修目標と実施計画(プログラム) (14～44)

1 総合診療科	14
2 消化器科	18
3 循環器科	19
4 呼吸器科	22
5 神経内科	23
6 精神科	24
7 小児科	25
8 外科	27
9 整形外科	29
10 脳神経外科	31
11 形成外科	33
12 皮膚科	34
13 泌尿器科	35
14 産婦人科	37
15 眼科	38
16 耳鼻咽喉科	39
17 麻酔科	40
18 放射線科	41
19 救命救急センター	43

#### 4-1. 協力型臨床研修病院プログラム (45～47)

1 社団医療法人祐和会北リアス病院研修プログラム	45
2 岩手県立二戸病院	46
3 岩手医科大学附属病院	46
4 岩手県立宮古病院	46
5 岩手県立中央病院	46

6	盛岡赤十字病院	46
7	岩手県立胆沢病院	46
8	岩手県立磐井病院	46
9	岩手県立大船渡病院	47
10	岩手県立釜石病院	47
11	北上済生会病院	47
12	岩手県立中部病院	47
13	岩手県立一戸病院	47

#### 4-2. 研修協力施設プログラム (48～58)

1	岩手県久慈保健所臨床研修実施方針	48
2	岩手県立軽米病院臨床研修プログラム	50
2	洋野町国民健康保険種市病院臨床研修プログラム	51
3	洋野町国民健康保険大野診療所臨床研修プログラム	52
4	久慈市国民健康保険山形診療所臨床研修プログラム	54
5	国民健康保険田野畑村診療所臨床研修プログラム	55
6	岩手県赤十字血液センター臨床研修プログラム	58

#### 5. 研修医のローテーション 61